

EDIUS[®] Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

リリースノート

Software Version 7.51b55 (2015 年 12 月版)

Windows 7 でご利用になる場合の重要なお知らせ

EDIUS 7 ではビデオ編集用ハードウェアのドライバーインストールに SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を使用しています。Windows 7 で SHA-2 ハッシュアルゴリズムを使用するためには、マイクロソフト社のダウンロードセンターよりセキュリティ更新プログラムをダウンロード、インストールしてください。セキュリティ更新プログラムのインストール後に EDIUS 7 のインストールを行ってください。

対象ビデオ編集ハードウェア

- HDSPARK
- STORM MOBILE
- 当社製ビデオ編集ハードウェアを搭載するターンキーワークステーション (HDWS/REXCEED シリーズ)

*ご利用になる OS が Windows 8/8.1 の場合や、サードパーティー製ハードウェアを使用する場合は該当しません。

SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を利用可能にするには、2つのセキュリティ更新プログラムのインストールが必要です。これらの更新プログラムは以下の番号順にインストールしてください。

1. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3035131\)](#)
2. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3033929\)](#)

NOTE: 本バージョンよりセキュリティ更新プログラムがインストールされていない場合は、インストール中にセキュリティ更新プログラムのインストールを促すメッセージが表示されて、インストールが中断されます。メッセージが表示された場合は、セキュリティ更新プログラムをインストールしてから、再度 EDIUS のインストールを実行してください。

機能追加

- MXF 1.2 クリップのエクスポートに対応しました。

更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

- XDCAM Professional Disc から転送中のクリップに打ったマーカーが削除される。(SFDC00486084)
- プロファイル管理ツールで作成したネットワークプロファイルが同ツール上で表示されなくなる。(SFDC00493724)
- H.264 MP4 ファイルエクスポート時に、インテル・クイックシンク・ビデオハードウェアエンコーダーが動作しない。(SFDC00502566)
- MXF クリップの時差編集ができない。(SFDC00505200) (Elite のみ)
- 10bit 非圧縮 AVI ファイルを再生すると、画像位置がずれる。(SFDC00494566)
- 時差編集クリップを再生し、再生位置が終端に到達するとカーソル位置が数秒前の位置に動いて停止する。(SFDC00490460) (Elite のみ)
- 既存プロジェクトを開くと、プロジェクトで使用している素材クリップの STRATUS へのリンクが消失する。(SFDC00483498) (EDIUS - STRATUS 連携の Elite のみ)

- EDIUS でキャプチャを行う際に、キャプチャファイル保存先を K2 ストレージに設定すると、キャプチャファイルに自動的に Out 点が付与される。(SFDC00495375) (Elite のみ)
- FTP セッション終了時に QUIT コマンドを送るように改良しました。

更新履歴 (7.50.228 と本バージョンの間に修正した履歴)

- クイックタイターで Post script フォントを使用してタイトルを作成すると、フォントのカーニングが正常に行われない。(SFDC00493862)
- タイムラインを再生すると、トランジション適用部分の映像が乱れる。(SFDC00493325)
- レイアウターでソフトエッジを適用したクリップにディゾルブトランジションを適用すると、トランジション適用部分のみソフトエッジが適用されなくなる。(SFDC00492666)
- 特定の SMPTE トランジションを適用すると、エフェクト適用部分の映像にノイズが表示される。(SFDC00487670)
- 持ち出し編集用プロジェクトファイル中のクリップがオフラインになる。(SFDC00490457)
- 1つのプロジェクトファイルを2台の端末で開いて編集すると、読み取り専用になっているプロジェクトファイルが自動保存されたプロジェクトファイルとして認識される。(SFDC00489027)
- REXCEED X4000 で SDI エンベデッドオーディオのキャプチャができない。(SFDC00491886)
- プロジェクトのオートセーブ先を2カ所に設定している場合、いずれかのドライブがアクセスできない状態になると、もう一方の保存先に対するオートセーブも動作しなくなる。(SFDC00490444)
- REXCEED X4000/2000 で EDIUS のレコーダー/プレーヤーウィンドウを切り替えると、音声ノイズが SDI 端子より出力される。(SFDC00486611)
- K2 クリップ名の最後にピリオドがついていると、EDIUS で読み込めない。(SFDC00490414)

既知の不具合

スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- 現象 スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。
- 回避方法 なし。

プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- 現象 Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。
- 回避方法 なし。

書き出した XAVC S ファイルの再生が途中で停止する

- 現象 タイムラインを XAVC S ファイルとして出力したものをカメラ等で再生すると、再生が途中で停止することがある。
- 回避方法 XAVC S エクスポーターの画質設定で標準、もしくは高速を選択する。

制限事項

最近使ったプロジェクトのリストが初期化される

現象	EDIUS 7.32 以前から EDIUS 7.40 以降へアップデートすると、最近使ったプロジェクトのリストが初期化される。 *リストが初期化されるのは、アップデート後の初回起動時のみです。7.40 から 7.41 へアップデートした場合、この制限事項は適用されません。
回避方法	なし。